

1億2494万9千円を追加

12月定例議会は、12月11日から20日までの10日間の会期で開催しました。議案は、町長提案で条例の一部改正・物品購入契約の締結・一般会計補正予算など19議案、議員提案で意見書2件を、いずれも原案どおり可決しました。

一般質問では、14人の議員が、町長・教育委員長の考えを質しました。

提出された

おもな議案

条例

◎地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例制定

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、平成20年1月1日から、公務においても長時間にわたる育児と仕事の両立が可能となるよう育児のための短時間勤務制度を導入するもの。

◎大山町職員の給与に関する条例の一部を改正する

る条例

平成20年1月1日から、国家公務員の給与改定に準じて、扶養手当を扶養親族1人につき、月額6,000円から6,500円に引き上げ、勤勉手当を年間1・45月から1・5月に引き上げるもの。

◎政治倫理の確立のための大山町長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例

証券取引法、銀行法等の改正に伴い、証券取引法を金融商品取引法に改めるなど必要な用語を改正するもの。

◎大山町公共下水道条例の一部を改正する条例

平成20年1月1日から、水道使用料を期限までに完納しない者に対して滞納処分を行うこと及び滞納処分に従事させるための職員設置を定めるもの。

◎大山町国民健康保険条例の一部を改正する条例

平成20年4月1日から

健康保険法等の一部を改正する法律の公布に伴い、老齢等年金の給付を受けている65歳以上の国民健康保険の被保険者である世帯主に課する国民健康保険税は、原則特別徴収の方法によって徴収するよう改正するもの。

町道認定

町道路線の認定について

所子中高線

山陰道大山インターチエンジへのアクセス道路として、所子工業団地への進入路として活用を図る。延長は740m。

質疑

問 (川島議員)

所子中高線が町道に認定されるが、町道の認定基準は。

答 (山口町長)

地域の利便性が上がり、広域的に活用される道路。

答 (押村地域整備課長)

一定の基準を定めてお

り、それに該当すれば町道の認定を行う。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ1億2,494万9,000円を追加し、予算の総額を100億5,709万5,000円とした。

(おもな補正内容)

名和クリーンセンター補修工事費 1,554万円
中小企業小口融資貸付金 600万円
学校33人学級協力金 400万円
農林水産施設災害復旧費 7,246万1,000円

質疑

問 (野口議員)

土地売却収入443万5,000円の内訳は。

答 (田中総務課長)

旧中山中学校跡地を中山駐在所用地として売却



豪雨により崩れた畦畔 (八重)

代金324万円と阿弥陀川河川敷を関係集落に売却する代金119万5,000円である。

問 (野口議員)

災害復旧費寄付金77万5,000円の内訳は。

答 (田中総務課長)

9月4日に発生した局地的豪雨災害で、中山・名和地内の農地及び施設32箇所が被災した。その復旧事業に係る地元と受益者の負担金。